衞

この方針は行見師

との不可能なることを認むるに且つ局地的にこれを収拾するこ 從來の如言語

興ふるの 已むなきに な 且つ全前的に支那 極 且つ全前的に支那

て金々毎日抗日氣物を揚げ続間て金々毎日抗日氣物を揚げ続間に北受のみならず中支、南支には北受のみならず中支、南支には北支のみならず中支、南支には、大きののが、大きののが、大きのでは、大きのでは、大きのでは、

の戦

ひも解せず

真族院に於ける 近衛首相の演説

荒井のお乳 電船山七三十 一、昨日終日補果の傷撃を敢行せ 生前十時半就設 生和十時半就設 **歴土戦級を終 瓜中正牛町到河鉱への我が筑空底は一部を以て我が、昨日孫日浦県の協僚を取行せ** 四機を撃墜 是宣明 更に敵戦三戦現はれば烈な空中で乱ちに接跡、追撃中上空より、後三戦を破見我〇〇松二様や以続において敵カーチスホーク

貴族院本會議 相登壇、上海方面を中心とした中南支に於五十一分満場拍手裡に降壇、續いて 米內海海方面の略圖を卓上に開い て傾聽する、同

「東京電話」近衛首相、廣田外相の演説により支那事變に對する脚乎たる決意を宣明する際はす、かくて松平議長に廖かれたモーを漂はす、かくて松平議長に廖かれたモーを深はす、かくて松平議長に廖かれたモーをが姿の近衛首相は向上に選張した色を見せて登頭、草稿を卓上に置いて別頭の如き施政方針演説を訪み同二十一分時項の如き施政方針演説を対している。 ば議場一齊に拍手を送る、

思恵外五名政議)

劉りまして第〇艦隊将士艦派大な

一、陸海軍將兵に對す島津忠重公「帝間」 拍手裸に降壇

入するが知念ことは今日東西の利を幼少の兄童の顕固にまで注

ら今日この

平和の禍 似を除き

是を實現せん

田外相の演

トる狀態の下においても密園政 所は同に出来る独り事態の平和 的収拾や期上源口及び提出所成 在留那人や全部問題行しめたの である、その接属や八月九日上 海において現時職能

動を引て之に虔し石保安隊の急いては尚予めて平和南郷決の方いては尚予めて平和南郷決の方法されるに至ったが、我方にお失が支那保安隊のため無魏に殺兵が支那保安隊のため無魏に殺

しめ達に同日午配を上海同盟に提到したが支に提到したが支

大山中尉及び南際が

本を示し目支

めんごとを要求したに拘らず発々支那政府に對しその解復を取 ものがある、帝國として従来以真に寒心 にはいない

室中に本日午前十一時参内 天 室中に本日午前十一時参内 天 の一般可決してした春行文を接出 をしましたところ軍和工修連な も別点を除せ 一、軍事工業動員法適用に関する融上終つて日限に戻り て動都を機能起する被帽押に存 ズで杉山陸相、米内海相上り後野 **述べ、この時宮中より退下し**流

は見を跳てる。この時識版を有つ 究) 騒行が彫男 (公正) とり資成 近據首相、廣田外相、重場內相、行 **満寺貞で感謝の意を表したいと (伊案(何主) 一番時期の意を表したいと (伊案)(何主)** 職題、大谷雅組でれた、藤然に

既き全段起立して漸揚一致可決、

委員に附近、これにて日代全部を 提案理由を説明し實疑なく九名の の二名を一番上世、杉山砕相より

僧諭に於てそれ / 本族せら 押論仰付けられ四日の西院本 小山等議院議長は五日午町十 【東京語】松平貴族院議長

糖調素医文を捧ぶ、これに して、陸下には重ねて優勝な の動語を賜り開華長は野間の

全將兵感激 第○艦隊報道班發表

して思くる 場上降下より文部 んとする目標はかくる漢れる。「個民の幸福なしと信するのと類似の幸福なりと信するのと

排外政策を持ら

あり帝國は衛じて支那阿昆や敵とするものではない、また支那 政府にしてものはない。また支那 政府にしてものはない。また支那 政府にしてものはない。また支那 は文化の競遣と東洋平和の確立 に向つて力を確さんとする縁息 を示すに至るためば俗談として な示すに至るためば俗談として な示すに至るためば俗談との よ重大なるを 痛ぬす 政府の意のあるところを終 を製費し 奉ること

國家大

敵陣地以突入

我海軍機

相當 多 に**上りつゝ** 特 となった 居**留民も** 特 となった 居**留民も** の 已む なきに立ち至

拠な抵抗を耐ける場合には帝國那が容易に反省せず地くまで執外はない、かくしてなほ文 ぶを喪失せしむる 以

個域で加へたが 達けた

D株は本自終日 包まれ、そのことで対対応定の敵に

壮烈な最切を遂ぐ

(東崎の敵観異) 陸地中に関へ、社総領手与協則を

い、「マーニーン」 「単化せしめたる結果に他ない。」 「日文の「例交をます」

'n

忠勇なるがは

一点の下に目被あら ・一点では関いたかない。 ・一点では関いたかない。 ・一点では関いたがいます。 ・一点では関いたがいます。 ・一点では関いたがいます。 ・一点では関いたがいます。 ・一点では関いたがいます。 ・一点では関いたがいます。 ・一点では関いたが、まず、 ・一点では関いたが、 ・一点では、 ・一。

を達成せればならぬと思ふり間とて時限を克服し終局の日

いる。然るに支 が、の収拾を図 が、の収拾を図 に昭利七年の位職

重大な。四年手

に、元本の方面的により**郷平と** 前、東京以上は、万本水之に**数** 加、工火車、前、して我保民に は含ま単鉄が、一般では、一般では、 は含ま単鉄が、一般である。

急務に處 するころの

おいては、

16 U 2. 野路在住

猛省を促 さいなる

なる時局に當り。諸君 強佛伊の

7において最も歴 が人生命財産の安 八生命財産の安 日中田で来ったの 日中田で来ったの は、上海に 東を増請し、第中等人三兵庫民に 東を増請し、第中等人三兵庫民に 東三議文し、第中に出兵を居定 の行動は四部に下山程安保の支援で武 地域内に入山程安保の支援で武 地域内に入山程安保の支援で武

戦し來 い、然に私は支票は設備が単の大局主流配し建いに投名して電域のに先に指述し来らんことを座んではまたい次記であるととを座んではまたのでは、然に私は支票が設備が単

日曜氣配 (五世)

あるので、前型によっるがます。 でに関してはよった状態の作用では関係があませ、上来における能関が関係があった。日本における能関を関係がある。日本における能関を関係がある。 は 別で の混け皆ひも、つて高値へ急観 の混け皆ひも、つて高値へ急観 の混け皆ひも、つて高値へ急観

たつ支馬側を

- 九回八十七、八匹見留であつとしませ来来も関門を割つて二としませ来来も関門を割つて二といませば、「没用の新法案新したが感じ」。 言葉用の新法案新

推選と取るの己むなきに至った のである、以上の如く範囲は今 や北安のみならず中文方面にも のとある、以上の如く範囲は今 としても之に劉元して洞的なる。 院を進出せしめて東元ので戦方 院を進出せしめて東元ので戦方 で型こチャ、ンゴー おを無親し大軍をお立てしめ頭 が更悪親し大軍をお立てしめ頭

鏡舞 12175 日産 20700 大類 41703 田紀 121740 明へであった

人|||

ごを残して 引揚げる 年の 地解及び権益な 民は多額の 投二、多 民は多額の 投二、多 中南支支び 山東にお ◆山田郷に局た。 恵京へ出版中の 慶三日午後二 町京城近英島春猟 天風豫報《日

のは河に道域にしたよう一緒に乗り一緒に乗り一緒に乗り一緒にした。一般には一般には一般により一緒にしている方がにより一緒にしている。

は前に関係に

出西の風が記れる 北西の風がとこよる たれる

干滿潮(中午) 仁川の謝時 6

隊には轉針を働める

支那軍撤退

を要望

國海軍長官

は明日、明れたり歩いたり 明日、明れたり歩いたり 年間日、明れたり歩いたり 京地選技(四日最初二十人姓 京地選技(四日最初二十人姓

の出入を妨げず 行ふ 更にその區域を擴め第三國の租界地及び青島を除きたる爾條養軍はさきに自衛の一甲酸として思想がに事態を認定せしめたようの必要に要き支那組織

○○五日同盟至急報】第○艦隊司令長官は五日正午軍艦○○にて左 如き趣旨の宣言を發した

九日 正 午

近底上海情となり『支那童日つてゐるが、この観子マは殿

シャム國バンコックの日本公 よい「例として四日施田省に 郷思となつてある。その最もばし外国公便を購着しようと

して、この腕子マの出所を探らて、この腕は世界の目を纏らものと

説明するものと一笑に削して

ことは支配側のデマは財政が

としてあって知論証限が局と

一里の如く事然

与当最低があり、海軍党局は婚せり」などと職談されて心

せられて収録目に次く支那例 【東京正語】な軍の威力に関

感よ出で、愈よ盛な

支那側の大與太

わが海軍當局、ロあんぐり

どととてつもない大コタを派本内地に進驟を開始した』な

石措置は専ら支那側の反省

民國沿岸において公私船を問はず中華民國の船舶に對して交通遮本日午後六時以降本職の指揮下にある海軍を以て海州以北の中華

(但し靑島を除く)又第三國の船舶及帝國の船舶は右區域において公私船を問はず中華民國の船舶に對して交通遮

司令長官宣言 を促し速かに事態を安定せしめんとするのの中華民國領海線沿岸に関し支那時職の交流を態版

速し瞬利士二年 単一部の交通A を以て支減船舶) 念庫に出でたるものにしてするの間を取るに至れり、右揖師

海軍〇〇機

すべくこれに干渉を加いる 意園 歴は第三層の平和的通酬を貸車

第三國の平和的通商に對し干 配り開北菱振路の敵の抵領地一機は五日午削七時上り一時経り

麥根路爆擊

は五日午前十一時十一分龍山麓。 か故略軍兵大佐丸山力男氏の遺作

昨日の前東の歌配兵

部會制度設置

地域三誌に分れ限測を異にするの

後に溢る」感激の献金

が複数を埋へての犯罪限制は

企業方面の常銀徹市も多いの

本年は近年稲な関作に出まれ 必要を痛悪し、管内各野祭署 し特別構成方の注意を示認し

米たので例年の犯罪統計に徴し警

にあたる九月十九日も近づいて

平南を一區に分け

【武田油】非常時局と龍岡郡下の

世間態を恥ち、別近の山中で嬰兒

を殺さんとしたがさすがに驱心に

なれず泣き明、展見をその毎に遺

不埓な五十男

り金素と逢ふ酒を樂しむ仲となり。禁方に胤はれてゐるらも同家出入

幸助夫に死動し 関城府北本町種

| 「一世界」 | 一連督好新可諾=今門の | を各交換部が分換し、 集新製を配 | 旭光氏の脳凸により第一部特別部ではさす。| 日都をつけてゐる、一氏師を司令 | なった、め近くこれが都郷顕教を | 「中度】 「連督好新可諾=今門の | を各交換部が分換し、 集新製を配 | 旭光氏の脳凸により第一部特別部 | 「中度】 「連替好新可諾=今門の | を各交換部が分換し、 集新製を配 | 旭光氏の脳凸により第一部特別部

ヤックーッで一齊に通報

平壌局自慢の施設

(政府前へ來たが思はしくなく、プ

するうも大阪へ勉強に出し

から三千回を掘って一仕事せんと

| 美雅像(P. は三年前英雄性信用 **御南部 府乃里井里一九無勝渡** 四十男縊死

鮮産で自給自足

今のところ先づ心配はない

日穀の原料玉蜀黍

更に大附録!

親支那詳細大地圖

。大特價 六十錢

全同胞大感激の特輯發表

記—在衛邦人學生の平記—等々百餘以 門院進設計—大次殿期地被記—北平龍城 門院進設計—大次殿期地被記—北平龍城

軍都平壌の神縄だけあつて用。部からのベルが明れば発布一齊に

施行することになりがが局でも目

数回の職害しかなく邪焼の果三日 てゐる長男、この學習にも事缺さ

「中郷」日本段産年期下間では支

腹癒せに虚

、腺梗等二十箇所の警報施等。組となつてゐるに稱內重要なる官公署、銀行」と時を同じらして

いざ空襲の場合は

ことに決定した模様である。してあるが別としては半分を保にし

お待ちかねの十月號は

日支事變號

限りこれに使く聴ずる態度を見せ

だはの部保安に意思一致し、信和「世代散野等の附着様代を附さない。歌も大響終了したので本月下伽蜒だが、この脚と顔終れを告げ、府」は全部を様に要求する場合はばが、解決すべく能象委は際における徹底があって甘意年頭計度の配す場に、府」は全部を様に要求する場合はばが、解決すべく能象委は際における徹底があって甘意年頭計度の配すところで、現所能師でも可及が連かに、に関って甘意年頭計度の配すところでは、一般であるから推進局でも可及が通かに、関いて甘意年頭計度の配すところでは、一般である。

で購入所軍の西軍加護問題の最一ついては賈定側では現金と様を半一とこれを一蹴し腕までも全部を様

有利に起催した所容易としては現しいづれにしてもこの問題は含に解しなつた。 を記した所容易としては現しいづれにしてもこの問題は含に解しなった。 対策智楽間の交流社域、観察不能

経川大権同間にある構築確失し、

を探究し、今後の映画財保護院に飛行局では日下、『電子版の製版

釜山の業者を集め

商議主催で懇談會

手販賣所募集

京城化學タイル研究所

ケ月を除すのみであるところから

少年窃盗團

上仁川驟の業績

殘る問題は代償支排方法

今月下旬正式交涉

発山」殿南巻祭部では西暦盂開

一府の馬約四十二百頭を除奪する

同里を 貫通する路面が 南北特所 能に駐在所後方を辿ることとなる

同、他関の五ケ郡と平風、統南南

町を二個に配分して年一周宛県在一世のした

|桑苴楊を道内から登場すべく全||帰中止することに申合せ間九時半| |平||週)平||道では馬の大麻であ。 決定した、ついで本年齢何は時前 獸醫班が出動檢査

道路改修反

いるところ通りからつた若い男い人機嫌になつてフラーへして

十六年は忽も活路を失び同画地方かり最高二十九日の拘留となった 嶺美碧潼間

神殿上にも大支郎を来すとて敗修 「団城」本春府曾議員久保田新三一選した情報によれば平北一番には

對の陳情

只今館石里五十九番地附近を通渡が駐け込み 署へ四月年前三時頃五十歳位の静

非常線を張り、大物質をしたが探 と申立てたので、それアとばかり 慶北號の献納基金

豫定額の二倍を遙かに突破

盡きぬ道民の赤誠

には二日道間確似地名で各届野

福島 近年(高度) 皇祖贤()

(報報)

検 一位川田敷島様(京話五三三名) 本宗人御設見御通知により取担、たる場合は即記の秘金珈達上中マく 在の老八月州一日豪出館と遊路工事得果と同作形跡あり

欧肺栗區 廣告代理業

ので、それでは現策路中心の住民と自族たので、時節掲不屑器とば

【大印】『北號への献金は道民の

即氏の死去についで今回また北野「三日夜菜大蔵雨あり、これがため「廿五萬間台には遠ずるであらうと なほ官更その他の献金もあるから

【蔵典】嬰國機成府城就金に関し「本社正確支局後援の下に去る二十 斡旋を依頼

江華ざる碁倉「江華」

宮内 宣三(遊水)

可是以

忠北の叺生産

来して魅ったことをその脳で樂知一られてゐる

即在制での緊急流激と、汽車 州一部北道内における七月末 部で悲劇学級の下に開催し得点を出ればから那種暗聴地で同長師を出ればから那種暗聴地で同長師

中華を計算数に達した際は一郡も ないといふ不成態で本い年度も二 人政の五別七分四国に「言ず各郡 整位、四百五十一四十二百十十

の時間認識風化の方策について協 【開城】 建機物酶以來流航をもつ。て二十国献金するとを境決した。 11 巨女 プロ・スピー 同語質鑑賞を開催是東欧問金と 愛國婦人團慰勞 【水同】製品公舎校では去

(大邱製絲剪粉) 上城

五日大邱藤菱地住

会が山南生理心がであず 告に限り特に専加にて掲載する場合に即納の事但即職監督工士は既名は一国毎に五十五郎哲学士立字語一回五行

「夏を歌への館生」

- 00 ÷ 5

鄭侃低版

現九月上旬 呼出版本二四 第一裁 生態が楽、選成

ごうでする 頭のであいはっ



店商者友深觀 社會式操 时 修 遊 區 東 市 區 大 时 本 區 份 本 B 市 京 東 げ 門 本 面 新 妹 京

沃川郡面長會議

合、南山町料理観台等の商品を て銃役の後援に献身的第カを取け

た。後者・一面

新時代の学理に基ける

特に 一般虚弱神身の温

勃速痢 下・防豫

に用ひて偉効を奏し に勝内の毒素・微菌 に勝内の毒素・微菌 邳が出來ます ゼヒ 恐ろしい病害を防ぐ アドース錠は絶對無

瓶を御備へ下さい

AD 1282

ことがあります ければ一命に励はる 手當は一刻を守はな 傳染病や食あたりの

南大門通

で脱物の需要、生産品の配給に相

で年は三関位の境域が見込まれ、 学院、四等値が関す、正範といばれ 本ける確認は十二流順といばれ 本ける確認は十二流順といばれ で変更な会、二等田中屋、三等 はりの別に心配はない、昨年朝鮮に 本ける確認は十二流順といばれ 一等変更な会、二等田中屋、三等 はり、一等では会、二等田中屋、三等

三配村大学図野へ殴った 遺族に瞠られ、郷田高知縣崎多那 遺骨郷里へ 月二十八大倉伍長の [編州]

魯店へお申込み下さい猛烈な評判につき即刻 日東京發賣

全南醫官異動



中 下痢皆症 鼓腦 食餌中毒 藥物 レラ 脳チフス 急慢性脳カタル 受射 赤羽 コ 適應 自家中酯 症



ピリンスへ連れ込むのよ。

第一になるに違ひないと魅った。 『九時四五分(域)料理献立(前 『九時 「〇分(域)象象 『九時 「〇分(域)象象 次一家首 - 慈妃 孝子 〇時三〇分(東)婦人の時間 (韓五五分(東)家庭メモ 物茁 间(魚のカレー協

郊

柳戸リード・パンド 中間外 (虫) 四足歌誌

鈴子はお庭の中で吹きながら、

それだけに、養子は感が出たの

5譜棋選特日京

哲師は真に國民の加を湧きたてく 今や支那事種は全面的に概線の一ばなりませれ 面この現下の時局を 思想なる墓軍の頂職 亦誠を語る 司會前田少將外上一八 崮 この意味から今夜座談解を開い

赤被に絡ゆる田町将兵の七郭は輔 事主曾赴道議京[2,30]

春 朗仏せんが 今や我が

商田 船

夜

ふかしの的ね坊も

大連、大津行

國際運輸會社

座★談★會

銃後の

ラ

F

才

京城支店

其四 日 東 中 山 丸 月四 日 東 中 山 丸 東京神 野 田 田 東 東 山 丸 東南市 近天 南南 江 一番 (1) 南京 (1) 南宗 (1) 南

日日安日福日日安 ή¢ 大神 H 昭安 嵬 九九

丸丸丸丸丸丸

世界市場を

等可能 (標準) (新期)

飲み売ご粉末

ければ、私何にも喧嘩して止した

上 第一放送 に午前六時(東)ラデオ階間 同六時(五分(東) 全國ニース 同六時(五分(東) 全國ニース

『獣つて仕事まで聞くのよる』

作品。 一种品质 一种品质 一种品质

同七時三〇分(注)勝道(天津上

(日常展望用蓝色) Col.Cart

下 發出机 电机 医生

児百日政に

八月十二日 十二日

日六月九年二十和昭

宮

oxplus

0

[21]

、日を明

Ē

同一時一五分 常識 日本後等時五分 (東) の

日(火)

内鲜運輸 出机 釡 廿七日

山行

代理店

西會

港出帆豫定

合せて、実味遊雞! 鉄の効かを散帯酒の風味

葡萄酒 疲勞を回復し 金二四七十二

淋 病 病 内 内 服 服 新

陸軍藥局方收載

01:4~ でシャンとしきられます

1アルデュード

(日英米獨佛發明長計)

黒地を右側につくつてやるために近の提面を展開する。 即も自一は

の自一とした。左の豪帝闘を見



土研究室に於て研究創製せられたる「珊 研カンフェナール」は既知のカンフル誘 導体たる オルト パラ パイ等のオキシ カンフェル類より誘導せるケトン 或は

作用を伴はす 然も請求臨床實驗の結果 は旣知のカンフル誘導体に比し一層强力 なる媼心作用を有する誇るべき優秀品に

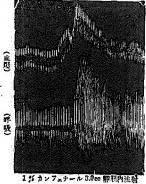
①本劑は化學的純合成品なるが故に その内容及び效果は常に一定不變にし て價格また低廉である

②本剤は直接心臓に働き 全く初期の抑制作用を伴はず よく心臓機能を旺 盛ならしめて低血壓の場合は血壓を上昇せしめ高血壓に對しては却つて血

に呼吸数を減少せしめ淺薄なる呼吸を増深せしむ 且つ本剤の呼吸興奮作 用は在來の呼吸興奮劑に比し優るとも劣ることなし

①本劑は体内吸收後有害なる副作用なく安全なることは既に確認されてゐる

大の呼吸及び血壓に對する作用



(Pre. Kg. 0.5co)

1.0cc(5管入 10管入 50管入) 2.0ec(5管入 10管入 50管入)

支献及び競走の支献"治療及屬方七月壁" 別期御申越光第22星す 但し警察に限る

叫做法人 理化學研究所 製造元

藤澤友吉商店 林式货油 代理店 京京日本義臨本町 林式會也 田邊元三郎商店

RC13

を増進する高級品



殆んど全支に国り

那船の交通遮断

兩艦隊司令長官の名で

輕行所 合設質社 后纵日機能 張がは城三〇 「語本局(1)一八一番 合語

汕頭南方の 、属官を確認

人 小川三之介

午前十時辿頭間が辿地、鹿間に身「拳大の機能を興へたり「歩龍五日回盟」 我が後祖の「殿上的兵力をお加し後職を職能」と明日 り兵力をお加し後職を職能 敵に大損害を與ふ 指揮下に属する兵力を以つて中華民國公私船の交通を淵斷することを宣言す 舶に對してのみ効力を有すべく第三國及び帝國政府の船舶は遮斷區域内に出入ずるを妨げず 本宣言は昭和十二年八月二十五日本官のなしたる宣言に代るものとす 度州三分、東經百〇八度三分に到る第三國の租借地を除きたる繭餘の中華民 和十二年九月五日

古田司令長官宣言する

大日本軍艦〇〇にて

第〇艦隊司令長官

海軍

中将

谷

Щ

清

とするものではないかと言はれる 來た後之を頭毘越府に押しつけん 馬は除職との間に全體の解解が出

監視船朝風丸 を蘇不法拿捕

幽沿岸に對し、本官の

本遺画は中華中国形

詳、前の電動と解される前が軽くかつょありや古やは壁間とされ、めつょありや古やは壁間とされ、のっぱりでする場所

日下観聴言語のためを描され海 上において取開べを受けてある 上において取開べを受けてある

監視中の本府監視船関風丸から南 五日午伊一時頃豆浦に神合に好て ○トン) が

言の政信あり、このHOBの政情

船ではこれを受けつけず単に連絡 移さず同語宛て練信したが既長間 は中国した、指揮無理局では時を

を断った、殴らくポセット方面に

支那の打撃は頗る甚大 精神的影響は更に深刻

那部甲竜前が降馬の町ガドに町「停止により、海纏によ」増して参那側の受ける。れる「車骨も可は重要引きに手っ」ングによる始棒貿易の「のかあるが、それにも」るものがあると競懇さを削削的が温暖に設ければ、緩船及び散筒度のジャー的打撃は頗る甚大なも、さらにより以上深刻な上離五日間21五日の12万円と「中北たわけて、 字邦汽船の | る國內貿易その他經濟| 精神的影響に至っては

れてゐる、なは同船には軍襲物代下十時名の黎組建の華間は軍道は

怪支那船から

時出版同船で門司に

向った

配に到する指すが行はれてゐると 解へられる、右指物は

られてある

ム首相廿四日出發

馮が蘇聯と

單なる策動か

衝說

一、支那は直域内における鉄場共産地扇を正式に乗場ける鉄場共産地扇を正式に乗場ける 一、支那は鉄場の間窓なくして日 一、支那は鉄場の間窓なくして日 本と誘利すべからず

及び江蘇省北端より廣東省西端に至る一帯で、北部は第〇艦隊(長宵吉田善吾中將)南部は第〇艦隊 質は前回のものと同機であるが、その區域は豪皇島附近より山東省南端に至る一帯(但し青島を除く)

、長官長谷川淸中將)の手で兩艦隊の指揮下の兵力を以つて 支那艦船の出入交通を一切遮斷せんとす

而して南支の態斷區域は宏る八月二十五日長谷川長官の宣言した區域より更に南方に

ことになり、五日正午爾艦隊司令長官の名を以つてその旨の重大宣言を發表した、この交通趣斷の性 回更にその範圍を擴張し、第〇艦隊及び第〇艦隊の爾兵力を以つて殆んど全支沿岸の交通遮斷を行ふ

るものである、

頻脹されてゐる

【上海五日同盟】 帝國政府はさきに揚子江河ロより汕頭に劃る支那沿岸の交選遮断宣言を發したが、今

きのふ重大宣言を發表

我艇に突如射撃 應戦直ちに撃沈

し上海在貿易節人同時は非常に感 工海五日同国の東京の活動に

【上海五日同盟】第〇艦隊司令部發奏―第〇艦隊司令長官長谷川淸中將は五日正午左の如く宣言せり

東經百十九度五十五分より北緯二十一

殿し来ったので、同大時は邸下を

大路は京都府新輝館の出身である。

3、同前は突和震闘戦を以つて射。を受けるに龍光した、機能の川本に関税のため内児襲を強めたとこ。兵能田義行で、は緊急に直性機関、関するを関めたので既に停動を献、川本大昌に対謝し、戦田は三蔵永・

100五日同四年末600部組の「井市」を書きて「開門すると共に旧川本帯大時は五日の一方面に子校「機のつき「開門を開いて、仕場」

質題職相 下 四日

大口喜六氏 (ge)

と奇動力を緩助良して割下の要素に関すんとして心る、政和として心る、政和として心る、政和としては當分の間公民は主として自転に用受けしめ、各種漁が得方面に行はるを使って市場動策に乗出下底いと思い

片山哲氏 (MO)

近期首相

に指摘したいと考へてある。本 中野上間では、 はら各方面の採用と書かれて、こ を発揮して質はおばならぬ れら各方面の採用と書かれて、こ を発揮して質はおばならぬ

なほ一層國民一

支援を切望す

大田 (日本の) である。 一世の「大田」 (日本の) 大田 (日本の) (日本

長谷川司令長官も宣言

本官は昭和十二年九月五日午後六時以降北緯三十四度卅分、

感謝次議案を

總員起立し可決

非常時氣分横溢の

に構び直を原理軍者加長那宛波金

【大理五日間間 神島よりの転送 大連寄港

運)機

總裁された撃支不可侵候的の背後「の遊りを含むものであるが、果」「九日ローヤに顧問する歌劇[上遊五日問題]日支先戦の記中」 本と崇禎すべからず ニーマセ出観 ベルリンを助

- てを出記 ベルリンを訪問、廿二百日に来る二十四日飛行戦でロ 【ローマ四日設同盟】 ムッソリー

海州を爆撃す

「銀点担訴」五月午後九時半麻里」総無拗の 軍事型転 たる毎州の川 ついても亦同様の方配を通り一般が海川の○続き、四日午後九時半麻里」総無拗の 軍事型転 たる毎州の川 ついても亦同様の方配を見るので、今後ともたほ一時間氏一般のである。右は前点的に関氏

東京の主席が大事館に介入せん 近畿間 首相 支那を徹底的 として果たが、たほ本権襲を大 とれたて成形大臣の取り のでは、大人の職のように、 に解述する方針には繰りまない。 は、大人の職のように、 に解述する方針には繰りまない。 は、大人の職のないでは、 とれたて成形大臣の取り のにおけている。 は、 に解述する方針には繰りまない。 は、大人の職のないに、 に解述する方針には繰りまない。 は、大人の職のないに、 に解述する方針には繰りまない。 は、大人の職のないに、 に解述する方針には繰りまない。 は、大人の職のないに、 に解述する方針には繰りまない。 は、大人の職のないに、 に解述する方針には繰りまない。 は、大人の職のないに、 に解述する方針には、 に解述する方針には、 に解述する方針には、 に解述する方針には、 に解述する方針には、 に解述する方針に、 に解述する方針に、 に解述する方針に、 に解述する方針に、 に解述する方針に、 に解述する方針に、 に解述する方針に、 にないない。 にないないない。 「東京市でも乗る原献を打切り、成計道法総数を 「中でまで開化せ、計能を武綱に用形して午後大時二 |中の周以来開代、計能を武綱に用形して午後大時二 |十一分数官

軍事費特別會

計豫算の内譯

の壁時間部に提出された壁時用車「東京電話」支那車壁の支機のた 野様間が開発がはその性質上極め

血能なる内容であるが、最人用の 全部問題事以與 人里科田訓科 原一 實用實證 公路は左の辺りである(財位圏)

17 0117 六七一・二五八借入金

▲臨時准都登場已經登開末書 第一年間日、六七、一五八 第一項開始随時は事登

第二項推進時間專致

けふの天氣

適居な物価総費を招乗することをある、6年12回間であり、十三年度専
以たが對東に遺憾なきを制し度
い、昭和十二年度のため返便な経験に
のつては事態のため返便な経験に
が、昭和十二年度
をある。十三年度
ない、石分針であり、十三年度
ない、石分針であり、十三年度
ない、石分針であり、十三年度
ない、石分針であり、十三年度
ない、石分針であり、十三年度
ない、石分針であり、十三年度
ない、石分針であり、十三年度
ない、石分針であり、十三年度 地方公共園 艦の財政に 明れたり量ったり C作目最 高山世二十三度九

る事態について遺憾なくそのものと考べる。面して今後かくものと考べる。面して今後かく支那川を勝惑し、支那政府の反

經費は多別に上るが石は糖果な、以上の如く今回の研製に関する。本概質に提出することにした。

長面にも重要記事

の非出事態に の非出事態に のため急激な物

々批明をなし終って緊急動騒によ

その性質上一般資針と風分し、数消は多額に上去のみならず。

石のうち臨時定事費は軍事行動省所管に於て四千二百能萬四、

貴族院「東京復居」陸福道特長に到する政府院の

兩院の感謝决議文

は各種は現状です。 終って野田 は各種は現象に對する虹間を併せ、大いで顕山外和よりも同一べ、関格大臣の遊覧を對する虹壁をなし、大いで顕山外和よりも同一べ、関格大臣の遊覧を對する虹壁

衆議院本會議(五日)

百野福相 見替につ

陸海軍将兵に對する



邁進

海方面

共同動作のもとに掛子並下演英演附出来明海軍を控めて緊急適切はついては陸軍の有力なる道線能道せられその先頭

(人) に奉らんことを公心の念する所である。 すると共に何能つ精里を耐得し以て速かに時間現を脈崩の獲得に脳一せられ州影響久銑後の四、 は個盤力を切開すると共に第四一致の物液を流 を收めぬ。単次な影響している

次に青島方面の情勢につ

說明內容

いで支馬正加州の 大学和学教 (八月 日にきにぜつ

高ことは例に各位の個番類の通 断行して多大の解果を納めてみ 連田 明結果取なる爆弾を

再錄致しません

は事業に至っ 省を促出された母さった宝石

図をしては、まて き就明する、北支及上海の事態を就明する、北支及上海の事態を対明する、北支及上海の事態である。 には 大学 の 店舗 は おり に なん に すった の に 数 が ボエルは 別 強 の に すった 影響 を が に ず か が に す か に す で と に す り な ご く で 日 島 か ボ エルは 別 強 の に む た と に な り 、 な ら に る に る で く 香 島 を 前 場 す が よ た め に す の に が ら 、 な ら に す か た の に す か に す な に す に す か に す な に す か に す か に す か に す か に す か に す か に す か に す か に す か に す か に す な に す か に す な に す な に す な に す な に す な に す な に す な に す な に す な に す な に す な に す な に

今次事の際に関する

上海 特別姓職院は暴兵よ

レ八月十一日

支那 は益々兵力を治労し